

1991年10月26日	宇ノ氣町鉢伏	ウエモミズ	1	松井正人
1991年 9月14日	津橋町河北高	2	松井正人	
1991年10月10日	津橋町能登	3	松井正人	
1996年 9月29日	内藤町内藤電機	4	松井正人	
1996年 9月29日	金沢市東町	5	松井正人	
1968年 1月14日	金沢市久安	6	松井正人	
1992年 7月12日	金沢市曲子原	7	松井正人	
1993年 8月21日	金沢市曲子原	8	松井正人	
1970年 8月 8日	金沢市大野	9	松井正人	
1991年 9月 8日	金沢市大野	10	松井正人	
1971年 9月15日	金沢市大野	11	松井正人	
1991年10月10日	金沢市大野	12	松井正人	
1993年 9月29日	金沢市大野	13	松井正人	
1996年 4月10日	金沢市大野	14	松井正人	
1979年 8月 2日	金沢市大野	15	松井正人	
1990年 9月 2日	金沢市大野	16	松井正人	
1989年 8月19日	金沢市大野	17	松井正人	
1993年 8月 1日	金沢市大野	18	松井正人	
1994年 5月 4日	金沢市大野	19	松井正人	
1994年 5月 6日	金沢市大野	20	松井正人	
1994年 5月 4日	金沢市大野	21	松井正人	
1993年10月29日	金沢市大野	22	松井正人	
1993年 8月 1日	金沢市大野	23	松井正人	
1982年 8月17日	金沢市大野	24	松井正人	
1989年 5月19日	金沢市大野	25	松井正人	
1982年 6月25日	金沢市大野	26	松井正人	
1994年10月23日	金沢市大野	27	松井正人	
1993年 8月 2日	金沢市大野	28	松井正人	
1978年 7月22日	金沢市大野	29	松井正人	
1982年 8月 3日	金沢市大野	30	松井正人	
1992年10月17日	金沢市大野	31	松井正人	
1978年10月13日	金沢市大野	32	松井正人	
1982年 6月28日	金沢市大野	33	松井正人	
1982年 6月23日	金沢市大野	34	松井正人	
1978年 6月 6日	金沢市大野	35	松井正人	
1996年 5月17日	金沢市大野	36	松井正人	
1992年10月17日	金沢市大野	37	松井正人	
1992年 9月 6日	金沢市大野	38	松井正人	
1995年10月10日	金沢市大野	39	松井正人	
1992年10月17日	金沢市大野	40	松井正人	
1978年 7月 6日	金沢市大野	41	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	42	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	43	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	44	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	45	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	46	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	47	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	48	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	49	松井正人	
1991年10月12日	金沢市大野	50	松井正人	

# TOBU

## 百万石蝶談会

No. 126 1997 JUNE

野野鼻の碑近く女道代敷家さげたの蝶見記録で、これにもなっている。野野鼻の蝶見記録に添って見られるが、その後女道代敷なる蝶見とれていない。

1992年 8月18日 金沢市野野鼻

## 石川県のシジミチョウ 4

松井 正 人

前回 (NO.125 APR. 1997) に引続き、石川県のシジミチョウについて紹介する。

同産地のデータは最も新しいものを採用し、メッシュ分布図は国土地理院発行の5万分の1の地形図を16等分して用いた。

## 10 ヤマトシジミ

県内全域に広く分布する。

## 参考文献

1991年 9月23日	珠洲市三崎森腰	1 ♀ 目撃	松井正人
1978年10月 1日	珠洲市山伏山	数頭目撃	松井正人
1978年10月 1日	珠洲市寺家須須神社	数頭目撃	松井正人
1989年10月10日	珠洲市馬渡	1 ♂ 1 ♀ 目撃	松井正人
1983年10月10日	珠洲市狼煙燈台	目撃	野中 勝
1990年 9月22日	輪島市高洲山山頂	2 ♂ 目撃	松井正人
1996年 9月28日	輪島市三井内屋	1 頭目撃	松井正人
1968年 7月21日	輪島市舳倉島	1 頭	大野正男
1994年 8月10日	穴水町甲円山	2 ♂ 目撃	松井正人
1992年 7月14日	穴水町新崎	1 ♂ 1 ♀ 目撃	松井正人
1991年 8月10日	穴水町別所岳頂上	1 ♂ 目撃	松井正人
1982年 5月16日	門前町猿山	目撃	嵯峨井淳郎・他 499
1995年 7月 9日	門前町琴ヶ浜	2 ♂ 目撃	松井正人
1990年 5月20日	門前町深見	3 ♂ 目撃	松井正人
1989年10月10日	門前町滝平	1 ♀ 目撃	松井正人
1995年 9月15日	門前町谷口	1 ♀ 目撃	松井正人
1990年 5月20日	門前町六郎木	1 ♂ 目撃	松井正人
1993年 5月15日	七尾市大泊	1 頭目撃	松井正人
1993年 9月25日	富来町関野鼻	1 ♂ 目撃	松井正人
1991年 9月29日	富来町広地	1 ♂ 目撃	松井正人
1995年 7月23日	富来町笹波	1 ♀ 目撃	松井正人
1994年 8月31日	富来町鹿頭	1 ♂ 目撃	松井正人
1983年 9月23日	富来町大福寺	目撃	竹谷宏二
1996年 9月28日	富来町八幡座主	4 ♂ 目撃	松井正人
1991年 9月29日	富来町風戸	1 ♂ 目撃	松井正人
1991年 8月10日	富来町六実	1 ♂ 1 ♀ 目撃	松井正人
1991年10月12日	羽咋市粟原	2 ♂ 目撃	松井正人
1995年10月14日	羽咋市一の宮	1 ♂ 目撃	松井正人
1992年 9月15日	羽咋市次場	1 ♂ 目撃	松井正人
1995年 9月23日	羽咋市柴垣	3 ♂ 目撃	松井正人
1991年10月12日	羽咋市石野	1 ♂ 目撃	松井正人
1991年10月26日	志雄町出浜	1 頭目撃	松井正人
1990年10月 7日	志雄町新宮	数頭目撃	松井正人
1991年 9月 8日	押水町小川	5 ♂ 2 ♀ 目撃	松井正人
1990年10月 7日	押水町竹生野	多数目撃	松井正人
1995年10月14日	押水町北川尻	1 ♀ 目撃	松井正人
1991年10月26日	押水町免田	1 ♂ 目撃	松井正人
1992年10月10日	高松町黒川	1 ♂ 目撃	松井正人
1991年10月12日	宇ノ気町指江八幡神社	1 ♂ 目撃	松井正人

1991年10月26日	宇ノ気町鉢伏	2♂目撃	松井正人	
1991年 9月14日	津幡町河北潟	2頭目撃	松井正人	
1991年10月10日	津幡町能瀬	3♂目撃	松井正人	
1996年 9月29日	内灘町内灘霊園	3♂目撃	松井正人	
1996年 9月29日	金沢市粟崎	多数目撃	松井正人	
1990年 9月23日	金沢市奥卯辰山	目撃	竹谷宏二	
1988年 1月14日	金沢市久安	2幼	小幡英典	124
1992年 7月12日	金沢市曲子原	1♀目撃	松井正人	
1993年 8月21日	金沢市金石	2♂1♀目撃	松井正人	
1970年 8月 8日	金沢市大桑	1頭	松井正人	
1991年 9月 8日	金沢市大場	1頭目撃	松井正人	
1971年 9月15日	金沢市大道割	1頭	松井正人	
1991年10月10日	金沢市東蚊爪	3♂目撃	松井正人	
1993年 9月29日	松任市倉部	1♀目撃	松井正人	
1988年 4月10日	河内村下福岡	1頭目撃	中野 純	137
1979年 8月 2日	河内村板尾	1♂	吉村久貴	449
1990年 9月 2日	白峰村大杉谷	1♀目撃	松井正人	
1989年 8月19日	白峰村白山釈迦林道	1♂	野中 勝	
1993年 8月 1日	川北町橘新	目撃	江口元章	302
1994年 5月 4日	川北町山田先出	目撃	江口元章	302
1994年10月 6日	川北町山田先出河川敷	目撃	江口元章	302
1994年 5月 4日	川北町船場島	目撃	江口元章	302
1993年10月29日	川北町中島	目撃	江口元章	302
1993年 8月 1日	川北町藤蔵河川敷	目撃	江口元章	302
1982年 8月 7日	寺井町粟生	1♀	中山佐一郎	104
1989年 5月19日	小松市塩原	1♀	中山佐一郎	127
1982年 6月25日	小松市岩淵	1♂1♀	中山佐一郎	104
1994年10月23日	小松市小山田	1♂目撃	松井正人	
1983年 8月 2日	小松市石田橋	1♂1♀目撃	中山佐一郎	25
1978年 7月22日	小松市大杉上	1頭	中山佐一郎	104
1982年 8月 3日	小松市中峠	1♂	中山佐一郎	104
1992年10月17日	小松市長谷	1♀目撃	松井正人	
1978年10月13日	小松市東山	1♂	中山佐一郎	104
1982年 6月28日	小松市符津	1♀	中山佐一郎	104
1982年 6月23日	小松市末広公園	1♀	中山佐一郎	104
1978年11月 6日	小松市蓮代寺	1♀	中山佐一郎	24
1996年 5月17日	加賀市鴨池	1♂目撃	松井正人	
1992年10月17日	加賀市橋立	3♂目撃	松井正人	
1992年 9月 6日	加賀市鹿島の森	1♂目撃	松井正人	
1995年10月10日	加賀市出村	1♂1♀目撃	松井正人	
1992年10月17日	加賀市美岬	3♂1♀目撃	松井正人	
1978年 7月 6日	加賀市保賀	1頭目撃	松井正人	

## 11 シルビアシジミ

関野鼻の岬近くの崖で採集されたのが唯一の記録で、これはシルビアシジミの北限記録にもなっている。小規模なミヤコグサが海岸線に添って見られ、ここで発生していると思われるが、その後のたび重なる調査では発見されていない。

### 参考文献

1992年 8月18日	富来町関野鼻	1♂	小松清弘	133
-------------	--------	----	------	-----

## 12 ゴマシジミ

標高1000m以上のカライトソウが自生する露岩地に見られる。既産地は尾根付近に多いが、これは尾根付近の調査が進んでいるため、より調査が進めば随所から発生地が見付かると思われる。

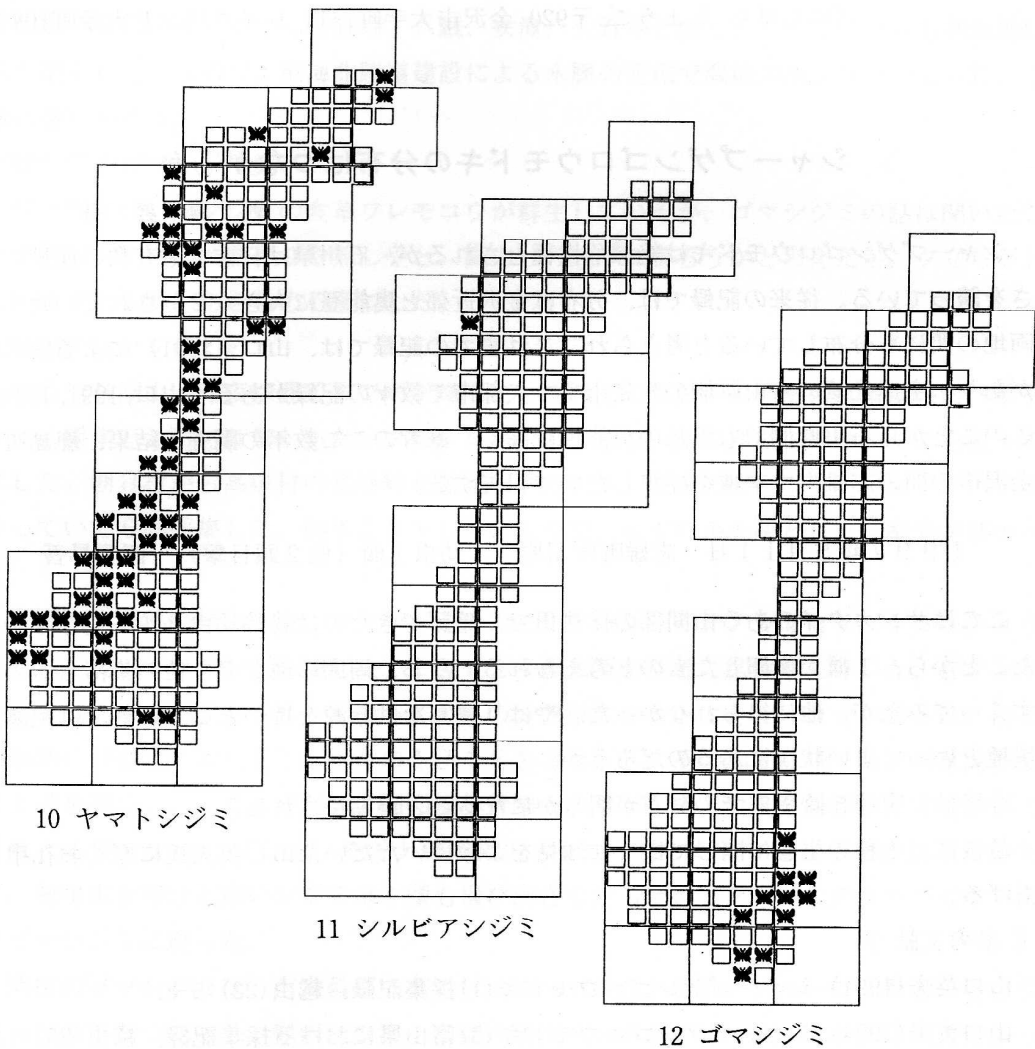
## 参考文献

1993年 7月31日	金沢市見越山	1頭	井村正行	
1993年 8月 7日	吉野谷村三方岩岳	5頭目撃	勝海雅夫	
1977年 8月 1日	吉野谷村蛇谷	1頭	富樫一次・他	21
1988年 8月 7日	吉野谷村中宮料金所付近	1♂		63
1987年 8月 7日	吉野谷村瓢箪山	2♂ 2♀	山本直樹	733
1990年 8月 3日	吉野谷村妙法山	2頭	㊦㊦	895
1990年 8月 3日	吉野谷村野谷荘司山	2頭	㊦㊦	895
1991年 8月12日	尾口村丸石谷	2♂	山本直樹	733
1976年 8月12日	尾口村岩間噴泉塔	1♂	山岸善也	578
1972年 8月 7日	尾口村白山新岩間～岩間	1頭	澤田 博	11
1986年 8月17日	尾口村白山薬師山	1頭目撃	松井正人	611
1994年 7月24日	白峰村砂御前山	8頭	中西重雄	
1989年 7月29日	白峰村三ツ谷	4頭採集 2頭目撃	松井正人	678
1988年 8月 6日	白峰村赤兎山	1頭採集 1頭目撃	松井正人	651
1990年 7月27日	白峰村大長山	2 8頭	山本直樹	733

## 《 参考文献 》

- 11) 武藤 明(1974)ゴマシジミ石川県で採集さる、蝶と蛾 25(1) : 28.
- 21) 富樫一次・鳥島昭信(1978)白山林道の昆虫類, 石川県自然保護センター研究報告 第4集 : 55-61.
- 24) 中山佐一郎(1981)小松市とその周辺のチョウについて, 小松市立博物館研究紀要 第18集 : 1-26.
- 25) 中山佐一郎(1984)小松市とその周辺の蝶について(第二報), 小松市立博物館研究紀要 第21集 : 26-30.
- 55) 大野正男(1969)舩倉島の蝶類, 蝶と蛾 20(1/2) : 57-58.
- 63) 山本直樹(1988)1986~88年ゴマシジミ総まとめ、第1報, 越虫(17) : 1-4.
- 104) 小松市立博物館(1987)所蔵品目録 IV : 37-57.
- 124) 石川むしの会・他(1992)石川の自然 昆虫, 写真集, pp. 111, 石川県自然保護課.
- 127) 小松市立博物館(1991)所蔵品追加分 昆虫類(鱗翅目1-5-19), 小松市立博物館研究紀要 第28集 : 61-63.
- 133) 小松清弘(1993)能登半島でシルビアシジミを採集, 蝶研フィールド(92) : 30-31.
- 137) 中野 純(1990)日本産蝶類採集日誌-1988. 3. 27~5. 5. -, ひゃくとりむし(71) : 8-9.
- 302) 江口元章(1995)川北町昆虫目録, 川北町史 第1巻(自然・生活編) : 843-867.
- 449) 吉村久貴(1980)河内村板尾谷採集記, 翔(17) : 3-4.
- 499) 嵯峨井淳郎(1982)門前町の雑蝶若干, 翔(32) : 4.

- 569) 竹谷宏二 (1985) 1983年の撮影記録から, 翔(50) : 13-14.  
 578) 山岸善也 (1985) 白山のゴマシジミ, 翔(51) : 1.  
 611) 松井正人 (1986) 白山薬師山でベニヒカゲとゴマシジミを目撃, 翔(60) : 10.  
 651) 松井正人 (1988) 赤兎山でゴマシジミを採集, 翔(74) : 2.  
 678) 松井正人 (1989) 山ゴマノート 1989, 翔(80) : 7.  
 733) 山本直樹 (1993) ゴマシジミと標高について, 翔(100) : 25-27.  
 895) T-Takamura (1990) くっそえらいゴマシジミ Part 1, よいこの蟲だより(90) : 2922-2926.



《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

## オオルリハムシの記録

井村正行・西原昇吾

石川県内で採集例の少ないオオルリハムシを採集しているので報告する。

1992年 6月 7日	内浦町松波坪根	10頭	井村正行
1996年10月26日	穴水町樟谷	1頭	西原昇吾

いずれも、ゲンゴロウ採集時に池の周囲の湿地で採集している。他の採集記録には、穴水町北七海（山口英夫氏私信）がある。

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

《にしはら しょうご 〒920 金沢市大手町7-11 レイクランド大手町108号》

## シャープゲンゴロウモドキの分布はつながるか

西原昇吾

シャープゲンゴロウモドキは絶滅危惧種とされるが、石川県は日本でも有数の産地の多さを誇っている。従来の記録では、分布は金沢近郊と奥能登に大きく2分されていたが、両地の間にも分布していると考えられ、これまでの記録では、山口（1991）による鹿島町があり、宝達丘陵の富山県側の氷見市や小矢部市で数々の記録がある（山口, 1991, 1994）。このことから石川県側でも生息の可能性は高く、筆者のここ数年の調査の結果、鹿島町と金沢市の間志雄町で本種を採集したので報告する。

1997年5月11日 志雄町所司原 幼虫1頭（他2頭目撃） 西原昇吾

ここはサンカクイのある山間部の休耕田で、確認できたのは終齢幼虫3頭に過ぎなかったことから、1雌が産卵したものと考えられる。なお、周囲の池などを他の集落も含めてすくってみたが、他に得られなかった。やはり豊富な供給源を持つところ以外では絶滅危惧種といってよい状況にあるのだろうか。

今後は、宝達丘陵南部での分布が明らかになることが期待される。

最後に、本種の生態に関して様々な知見をご教授いただいた山口英夫氏に厚くお礼申し上げます。

## 《参考文献》

山口英夫(1991) シャープゲンゴロウモドキ(1)採集記録. 越虫(22):5-8.

山口英夫(1994) シャープゲンゴロウモドキ(3)富山県における採集記録. 越虫(25):17.

《にしはら しょうご 〒920 金沢市大手町7-11 レイクランド大手町108号》

## 1996年ゴマシジミ採集記 2. 中部編

勝海雅夫

8月11日、白山での疲れを岐阜県大野郡白川村の平瀬温泉で癒し、国道156号を南進、牧戸で158号に乗り換え松ノ木峠越えで、高山市周辺のゴマシジミを狙う事にした。

《途中はギフチョウのポイントがいっぱい》

途中の大野郡荘川村近辺では、湿地のヒメカンアオイを食べる飛騨ギフが、5月中旬～6月中旬にかけて飛び交う。ところが、郡上郡高鷲村蛭ヶ野の各ポイントに採集禁止の立札が立てられ、不愉快に感じているのは筆者ひとりでは無い筈である。ちなみに牧戸から国道156号沿線では白鳥町までに野々俣、御手洗（みたらい）、蛭ヶ野、鷲見と続き、158号沿線では松ノ木峠までに軽岡峠、六厩、女滝、大野平と続く。どのポイントも発生地は狭く限られているので、東海北陸道建設による水脈の変化で湿地の消失等が考えられ、今後に憂いが残る。

《蛭ヶ野のゴマシジミ》

蛭ヶ野にはゴマシジミの食草ワレモコウが群生しているが、ゴマシジミの話は聞いたことが無い。一見の価値有りや無しやと、高山への途中に寄ろうかと考えたが、夕立ちがドシャ降りとなり、あきらめる事にした。

《開田のゴマシジミ》

8月12日高山。昨夜は遅くまで雨が降っていたので、原山スキー場の草地は朝露ベッタリで、採集どころでは無かった。プランを変更し、木曽は開田高原のゴマシジミを狙う事にした。朝日村から高根村の長峰峠を越えるまでのトンネルの出入口に、エルタテハが止まっていて6頭採集した。例年より少し多いようで、途中の手土産としては幸先が良かった。

長野県木曽郡の開田では、ゴマシジミ、ムモンアカシジミ、アカセセリ、ヤマキチョウに狙いを絞ってポイントを捜した。アカセセリは草原の草地に結構飛んでいた。必ずシダの葉で日光浴し、テリトリーを張っているのが簡単にネットできた。ゴマシジミは、柳又の畑地の斜面にて羽化したばかりの1♂1♀をネットし、その畑地に続く草原の草地でもう1♂を追加した。ここでは、今回の採集行唯一のヤマキチョウ1♀をゲットする事ができた。ムモンアカシジミは、ミズナラの発生木を知っていたので採れると確信していたが、発生木を叩けど赤いシジミは1頭も飛び出さなかった。まだ未発生のようなので、再びゴマシジミに戻った。

開田のゴマシジミは、南安曇郡の奈川村に比べてかなり明るいブルーで、筆者の好きなタイプのひとつである。髭沢、菅沢、西野の各ポイントを巡ってはみたが、成果は無かった。ただ、西野では「忘れな草」の群生地を見つけ幸せな気分になれた。

## 《野麦峠で気晴らし》

ゴマシジミに見放され、野麦峠でエルタテハやキベリタテハを道沿いで採集する事にした。しかし、キベリタテハは見られず、エルタテハは道路のコンクリート擁壁や橋脚の日陰部分に止まっているものを多く見かけた。特に気温の高い日には有効な採集、撮影ポイントで、多い時には5～6頭のエルタテハが橋の裏側に止まっている。同じような習性は、クロヒカゲにも見られる。

野麦峠より少し下の沢には、オオゴマシジミも少ないながら発生している。1995年8月中旬に1♂を採集している。野麦峠で京都の知人H氏に出会った。氏も1995年には同じ場所で、オオゴマシジミ3頭を採集していた。

## 《奈川村のゴマシジミ》

野麦を後に、奈川村のゴマシジミを見る事にした。ここのゴマシジミは黒っぽいのが多いが、10頭に1頭位は開田タイプが見られる。産地は、古宿、金原、追平、寄合渡、野麦峠スキー場、境峠、田ノ萱などが挙げられる。ポイントは、どこも畑地や田んぼの畦の斜面に自生しているワレモコウで、山側に面していれば更に良い。ワレモコウで吸蜜している♀を写真に収め、夕方には♂のテリトリー活動も確認した。ゴマシジミのテリトリーは、沢筋や谷合いの傾斜地を一定方向に飛ぶので、場所さえ分かれば簡単にネットする事ができる。奈川村には、村営温泉「リフレイン」があり、一風呂浴びることもできるし、家族で宿泊もできる。

## 《諏訪でいっぶく》

8月13日は台風が接近し、その余波で中央道諏訪インター付近でも小雨が降っていたが、午前7時を過ぎた頃から止んだので、有名な諏訪のムモンアカを採る事にした。上諏訪と下諏訪の間にある「大和」がポイントで、採集者も毎日入谷している。発生数も満足できる産地である。但し、発生木が谷の上部と下部にあり、この間が段々畑になっている。最近、この畑を踏み荒らす不届きな採集者がおり、肩身の狭い採集をしなければならぬ。何処の採集地でも、マナーは守るべきである。ムモンアカは1日で2桁は採集でき、夕方のテリトリー時では20～30頭の乱舞が楽しめる。

## 《明野のゴマシジミ》

諏訪インターから入って中央道須玉インターを下り、ブルーのゴマシジミを求めて明野村で捜すが、2桁弱しか採れなかった。明野村は、日本一日照量の多い村として売り出しており、太陽＝ヒマワリという訳でヒマワリを畑一面に植え、ひまわり村として観光客で賑わっている。明野村のゴマシジミのポイントは、茅ヶ岳広域農道の犬穴隧道の手前に小道があり、約20分程歩くと広い伐採地に到着する。ワレモコウが40～50株あり、伐採後あまり経っていないので、2～3年後が楽しみのものである。明るいゴマシジミがワレモコウに止まって、羽を半開きをしている様は絵になる。ここでは関東型のダイミョウセセリ、ホソバセセリ、少ないながらホシチャバネセセリも採れ、オオムラサキは多い。



他に、カブトムシ、ノコギリクワガタ等も採れ、家族サービスにはもってこいの場所だと思ふ。

#### 《長坂のゴマシジミ》

長坂町に転戦し、広い範囲にワレモコウの自生を確認したが肝心のゴマシジミはいず、若神子新町で2♂を得たに過ぎなかった。日野春周辺にも、少ないながらもいくつかのポイントはあるが、今回は捜さなかった。夕方、再び諏訪のムモンアカポイントに立ち寄ったが、1♂採集したに留まり、明日の天気を気にしながら、今日は納竿とした。

#### 《高山市周辺のゴマシジミ》

8月14日、台風の影響で朝から風が強く、雲も早く流れ、断続的に雨が降っている。台風は、今日夜半に石川県沖を通過して行くので、採集は午前中で切り上げて金沢へ戻ろうかと考えたが、高山市周辺のゴマシジミを採っていないので、今日は岡谷市花岡で2時間、奈川村から野麦峠を越え午後2時から高山市で採集と考えた。

奈川村で天気が少し回復したので、ゴマシジミ、ホシチャバネセセリ、アカセセリ等を採って貴重な時間を消費し、野麦峠ではキベリタテハを捜したりしたので、高山の原山スキー場に着いたのは午後3時。ここでゴマシジミ1♂を採り、場所を変えることにする。時期が若干早かったようで、知人が8月21日に7♂5♀を採集した事を聞いている。他のポイントとしては、過去に久々野町大西でも採れたが下草が伸びてからは採れていない。最近では、大洞、前原、段、無数河がある。いずれも局地的で、ワレモコウがあるからと安心してると痛い目に合い、時間のみが過ぎ去る悲惨な結果になる。

#### 《スーパー林道はタイムアウトか》

スーパー林道馬狩ゲート到着は午後6時5分。ゲートのランプは、虚しい赤色。雨、風とも台風の影響が表われ、仕方なく国道156号、富山県経由で金沢へ向かうかとも考えたが、往復チケットがあるので管理事務所をお願いすることにした。石川県警のパトカーが管理事務所前に駐車しており、もしやとの思いも有ったが、やはりこれから石川県へ戻るとの事で、気の良い県警のおじさんの先導で無事スーパー林道を通る事ができた。言うまでも無く、翌日は終日全面通行止であった。

蛇足ながら8月16日は、山野草に興味がある人と三方岩岳に登り、ゴマシジミ3♀を観察し、尾口村でマメザクラからメスアカミドリシジミ5卵を得た。

金沢にある嫁さんの実家を午後3時に出発し、お盆のラッシュにもかからず滋賀県草津市の自宅に家族皆無事に帰り着いた。帰るや、留守番電話に「中国地方のゴマシジミ行きませんか？」とのお誘いがあり、断わる理由も無く、「何時にうかがいましょうか」となり、ゴマシジミ中国編が始まるのであった。

かかった直径六十センチ程のエノキ、勢い余って枯枝を落とすとかがキラリ。クロマダラです。上翅が二枚と後翅が付いた腹節が出てきた。

**能登半島ゲンゴ調査隊**  
山口、西原のゲンゴチーム、能登でシャープの調査。各地で幼虫を確認したものの、半島西側では全く確認できない。東側に産地は多く、突端の狼煙でもシャープを確認。

**毎日眺める檜枝岐の材**  
檜枝岐から採ってきた材からヤツボシカミキリが脱出。飽きもせず毎日材と挨拶していた井村会長、内心ニヤリのはずだがそこは威厳を保って顔には出さなかった。

**クロマダラタマムシが脱出**  
加賀から持ち帰った枯枝からクロマダラタマムシが脱出。この枯枝、採集時に少し破壊したところ、タマムシの死骸やクワガタの幼虫がゴロゴロ出てきた。

**志雄町でシャープを発見**  
ゲンゴの分布調査にはまった西原君、七尾から羽咋にかけての分布を確認し、志雄町でもシャープを発見した。あと押水と津幡で発見できれば、金沢と分布がつながる。

**鴨池調査一九九七スタート**  
分布調査は昨年で終わり、今年特定昆虫の生活史や密度の調査。鴨池は冬鳥が飛来する冬期は観察者も多いが、それ以外は閑散としている。年間通して人を呼び込もうと、昆虫を視野に入れた戦略が浮上してきたらしい。

**ネットを張ったクモ研究者**  
訳がわからぬ内にインターネットに接続したのは指田氏だったが、今度はハイテク度抜群の徳本氏が接続。既に各サイトへメールを送っているが、しばらくするとジョロウグモの様にリンクを張り、いろんなフォーラムを作ってしまうような気がする。

**ホータイを巻いた材**  
井村会長の材にはホータイが巻いてある。羽脱が待ちきれず削ってしまった材で、まだ蛹だった時に巻いている。けれど蛹室を壊してしまうと、満足な羽化は期待できない。今回もホータイをとると、ハネナシキンヘリが出てきた。

**ゲンゴ調査隊は日尾池へ**  
奥犀川の秘境、日尾池へゲンゴ調査に向かった西原君、ヤブコギの連続にゲンナリ。四時間かけて池にたどりついたが、求めるゲンゴは発見できず。代わりに真新しい尾根道を発見した。

**松本市の昆虫**  
市史編纂の中で、従来切捨てられがちだったデータ集が認められ、「松本市の昆虫」となって発行された。地域の自然資料をより充実させるためにも、今後の市町村史はこうあってもらいたい。百五十頁三千五百余種を収録。

**例会の記録**  
四月十日(木)八時から城南管工二階にて開催。

刷り上がったばかりの報告書と、採集標本を持ち寄って鴨池調査の報告を行なった。その他は、柚山、福岡等の最新ギフチョウ情報、クワガタ飼育にはまった昆虫館長、福岡学会のついでに対馬で虫採り等々。

参加は指田、山岸、中西、井村、松井、高田、生田、富沢の八人。

**例会の記録**  
五月一日(木)八時から城南管工二階にて開催。

能登半島ゲンゴウ類徹底調査の第一回調査を終えて、西原君が簡単な報告を行なう。その他は、クロマダラ調査法、九頭竜河原のヤコンオサシマゲンプロジェクト等々。参加は松井、井村、中西、西原、山岸、野中(T.E.L.参加)の六人。

表紙デザイン・小幡英典

# 会員の動き・しゃばの動き

ギフチョウは微笑まず  
ギフチョウの宝庫と北陸ま

で遠征してきた多摩虫の精鋭  
なかなかネットが振れずガツ  
クリ。今年は発生不順で、平  
年なら涌いてくるギフも、今  
年は捜さないと見つからない。

豪雪地帯のギフも早かった

新潟は奥只見、豪雪地帯で  
有名な所だが、このギフも  
早かった。例年より十日早く  
入ったが既にポロ。今年は雪  
が少なかったのでしょうか。

富沢氏、昆虫館準備室へ

来年の八月オープンを目指  
し、昆虫館準備室が設置され  
富沢氏もスタッフに加わった。  
建物は年内に完成するが、中  
身は全てこれからの状態。放  
蝶温室があり、生き虫、食草、

世話人の確保がカギとなる。  
これを三人のスタッフでこな  
すのは結構しんどい。

今年のギフは早い？遅い？

春先からギフの発生は早く、  
各地で十日程早かった。この  
調子で飯山は木島平のギフを  
つまみに行ったが、いっこう  
に飛んでいない。昨年はポロ  
だったので、時期はピッタリ  
の筈なのに、飛んでいない。

昆虫とバリの民芸品のお店

井沢氏が、東山に開いたお  
店「虫のいどころ」はなかなか  
楽しい。大きなオオミズア  
オが迎えてくれ、これまた大  
きなフンチュウやオオクワガ  
タが眼に飛び込んで来る。絵  
やリアルな置物に交ざって本  
物も並んでいたりして、至福  
の時間が過ぎていく。

翔の表紙はカラーだった

本紙百二十四号から表紙が  
変わったのをご存じかな。小  
幡氏が八十メガのマックを駆  
使して作っているが、実際は  
カラーでもっとグラデーショ  
ンがきいている。印刷費を安  
く抑えているので、こんな印  
刷しかできないが、例会では  
本物を見ることが出来る。

雨にたたらればパワーが出ず

福岡まで行ったついでに対  
馬へ渡った江崎氏だったが、  
連日雨にたたられた。材採集  
に雨は関係無いが、やっぱり  
意気込みはダメージを受ける。  
根性もパワーも全開ならず、  
程々の収穫に終わった。

クロマダラタマムシ発見

環境庁の巨樹報告書とメツ  
シュ地図を抱えて出かけたタ  
マムシチーム、県南部からエ  
ノキの巨樹にアタック。ここ  
ろが、大き過ぎたり民家の隣  
だったり、井村会長を持つ  
てしても手が出ず。偶然通り

翔 NO. 126

1997年6月1日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

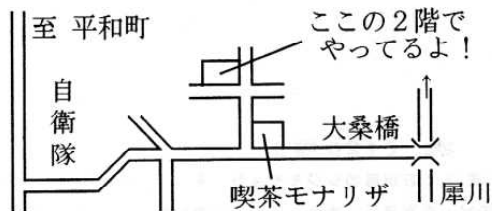
〒920-01 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜8時から

TEL参加もOKです(076-244-3318)



## 目 次 (126号)

松井正人：石川県のシジミチョウ 4	1
井村正行・西原昇吾：オオルリハムシの記録	5
西原昇吾：シャープゲンゴロウモドキの分布はつながるか	5
勝海雅夫：1996年ゴマシジミ採集記 2. 中部編	6
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10